

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
神栖地域中心市街地地区

令和元年10月

茨城県神栖市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	神栖市	地区名	神栖地域中心市街地地区			面積	578ha				
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	令和元年	交付対象事業費	10,670百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 【道路】県道粟生木崎線・市道8-1719号線 【公園】(仮称)神栖中央公園防災アリーナ 【地域生活基盤施設】(仮称)土研跡木崎広場, 国道124号沿道案内板設置, 息栖小体育館耐震化(耐震補強), 神栖二中体育館及び武道場耐震化(耐震補強), (仮称)神栖中央公園防災アリーナ, 【高次都市施設】(仮称)神栖中央公園防災アリーナ										
	提案事業		【まちづくり活動推進事業】防災公園PR活動, 防災訓練の実施										
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業											
		提案事業											
	新たに追加した事業	基幹事業											
提案事業													
交付期間の変更	当初変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	防災機能を備えた屋内避難所ができることに対する安心度	%	0	26	74.3	30		53	△	あり なし	かみず防災アリーナがオープンして3ヶ月経過時に計測した指標値においては目標値を達成できなかった。オープンから間もない現在においてはアリーナの防災拠点としての市民の認識度が目標値より低い水準になっている。今後アリーナの防災機能を防災訓練等を通して市民へ周知していくことで改善をはかっていきたい。	-
	指標2	公共施設の耐震化率	%	94.2	26	100	30		100	○	あり なし	事業区域内の公共施設の耐震化工事を完了することができた。	-
	指標3	防災訓練の実施回数	回	0	26	2	30		1	△	あり なし	整備期間内に防災公園内で避難訓練を1回実施した。令和元年11月に2回目の防災訓練を実施し、目標回数に達する見込みであり、市民の防災意識の向上が見込める。	-
指標4										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
持続的なまちづくり体制の構築						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

神栖地域中心市街地地区(茨城県神栖市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 うるおいと安らぎ、安全・安心を兼ね備えた中心市街地の形成 小目標① 地域の防災拠点となるアリーナの整備により、災害に強いまちづくりを推進する。 小目標② 公共施設の耐震化を図り、災害時に市民等を守る、安全な避難場所を確保する。 小目標③ 安心して暮らせる生活環境を創出し、都市機能の維持と更なる活力の増進を図る。	防災機能を備えた屋内避難所ができることに対する安心度	単位: % 0 H26	74 H30	53 R1	
	公共施設の耐震化率	単位: % 94 H26	100 H30	100 H30	
	防災訓練の実施回数	単位: 回 0 H26	2 H30	1 H30	
		単位:			
		単位:			

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 課題1: 災害時の避難所機能及び屋内に求められる救援救護活動スペース等の機能を確保した防災拠点の整備(PFI事業)→中心市街地に防災機能を備えた屋内拠点施設としてかみす防災アリーナの整備ができた。 課題2: (仮称)土研跡木崎広場の用地取得、整備→公園として木崎広場の整備により、既存の神栖中央公園のとの一体的な利用が図られ、多くの人が集まる賑わい、憩いの場が生まれる区域となった。 課題3: 災害時の避難所となる公共施設の耐震性の確保→息栖小学校及び神栖第二中学校の体育館の耐震化工事が完了し、避難場所となる公共施設の耐震性が確保された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 新たに整備されたかみす防災アリーナが供用開始となり、今後は防災意識の普及、知識の啓発が必要である。